

## 1 森林資源の活用に関する課題（大径材）

## R 4年度 豊田森林組合 木材生産と流通

用途	販売先	数量	備考
用材	西垣林業豊田工場	17,000 m <sup>3</sup>	15~20 cm 柱、土台 22~32 cm 間柱、ミナ
	市外の原木市場	5,000 m <sup>3</sup>	30 cm~ 大径材 (並材も含まれる)
	木材生産のみ	2,000 m <sup>3</sup>	県有林など
チップ材	西垣林業豊田工場ほか	8,000 m <sup>3</sup>	バイオマス発電ほか
合 計		32,000 m <sup>3</sup>	

## 【留意点】

- ・ 基本的には、西垣林業豊田工場に直送している。
- ・ 大径材の一部は、山土場での仕分けにより市外の原木市場に出荷している。
- ・ 市外の原木市場への出荷は、製材工場への直送と比較すると、価格面ではメリットがある。
- ・ 価格面でのメリットがある一方、仕分け、運搬などの手間が発生する。
- ・ 今後、必然的に大径材の割合が大きくなる。

⇒人工林の大径化による影響をどう認識し、市としてどう対応すべきか  
ご助言いただきたい。